

コロナ禍にも  
めげない!!

産業力  
地域力

を  
総力分析!!

コロナブス

総

研



This  
Month  
Talk

K&P 税理士法人 代表社員 (兵庫県尼崎市)  
公認会計士・税理士  
香川 晋平 さん (49歳)

## 二重ローンによる負担を軽減するため MAS監査による経営計画づくりを推進中

当事務所は製造業の顧問先を数多く抱えているのですが、その様子を概観すると、東京などの発注元(大手製造業)とのコミュニケーションに苦労しているところが多いように思います。ただ、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、他社とのコミュニケーションはもちろん、テレワークをはじめとした働き方改革にも乗り出している企業に関しては、経費削減にも成功し、収益が徐々に回復しつつあるようです。

他方、見本市・展示会への出展を営業の主軸にしていた製造業については、売り上げを著しく落としている印象があります。製造業の場合、やはり実物を見てもらうことで説得力が増すため、見本市・展示会の中止が大きな痛手になっているのです。しかし、なかには見本市・展示会に代わる手立てとして、不慣れながらも製品紹介の動画などを作成して積極的にアピールしているところもあり、そういった企業は少しずつ業績を伸ばしつつあります。コロナ禍を契機としたビジネス環境の変化にいかに対応していくかというのが、今後も中小企業にとっては大きな課題になるのではないのでしょうか。

ところで、私事になりますが、最近はコロナ禍の影響もあって、経営者と会食をする機会がめっきりなくなりました。ただ、その代わりにゴルフに誘っ

ていただくことが増え、コースを回りながら経営の話を含め、おたがいにさまざまなことを話せるようになりました。3密を回避しながら、交遊を深めることができるゴルフは、ある意味、コロナ禍にマッチしたスポーツといえるかもしれません。オンラインツールの導入も積極的にすすめる必要がありますが、その一方でときには3密を避けながら、生の声を聞く機会を設けることも忘れてはならないと思います。

コロナ禍がはじまった2020年、顧問先には「とにかく借りられるだけ借りて、手元の資金を潤沢にしたほうがいい」とアナウンスし、新型コロナ関連の融資や給付金の情報発信や申請代行などにも力を入れてきました。ですが、新型コロナ関連の融資に関しては返済開始が着実に近づいてきています。そこで、当事務所では21年からMAS監査(マネジメント・アドバイザリー・サービス)に力を入れ、経営者に二重ローンの返済計画なども盛り込んだ未来志向の経営計画づくりをすすめているところなんです。依然として「まだ猶予があるから大丈夫」という経営者が多いのが現状ですが、ポストコロナに向けたビジネスモデルを構築するには、少しでもはやくあらたな視点で経営計画を立てなければならないので、粘り強く経営者を説得しつつきたいと思っています。

地域の優良『元気企業』ガイド [北海道]インハウスコミット(株) [東北]㈱イグナルファーム [関東]保川建設(株)  
[東京]CLINKS(株) [甲信越]㈱アグリ甲斐 [北陸]㈱ウインズジャパン  
[東海]㈱ひらゆの森 [近畿]SAT(株) [中国]いなばテクノ・エボリューション(株)  
[四国]㈱ミロクテグノウッド [九州]㈱重久盛一酢醸造場 [沖縄]LVS(株)

日本の地域力 47都道府県 & 東京23区産業栽培ニュース

地域色豊かな文化・産業情報が満載。  
景気月報も要チェック!!

今月のContents